

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



<11/30:食育教室>

初等部の特別企画、道フリースクール等ネットワーク加盟団体企画の2回目に参加。日ハムの説明を受けて飾り切りのイロイロを子どもらしくオリジナルも作りました。(午後、会場となった中央卸売市場を見学。右写真は展示場の電動リフト)

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト/運動、物販
- p3: 講座第3回、
- p4-5: スクール「行事から」
- p6-7: スタッフ・サポーターの挨拶
- p8: エッセー、カレンダー、後記
(付〜講座チラシ、イベント他)

「自分らしさ」と「信頼」

北海道自由が丘学園・生徒父母 山田 陽子

「ほんとうの自由は、かなりキツイ！」

このスクールに来る前、娘はよくこんなことを言っていました。アメリカのデモクラティックスクール（民主教育/自主教育がベースの学校）で過ごし、自由に選ぶことや行動の自由を手に入れ、のびのびと過ごしていたと思っていたので意外でした。娘のキツイ理由を紐解いていくと、好きなように振る舞っていると揉めるし、やるって言ったことをやらなくても怒られないけどルーズな自分が嫌になるし、なにより退屈だし、いちいち自分で決めるのもめんどくさい。自由を手にして、その自由を自分のものにするには、なにか足りない…と、持て余しているように見えました。

娘は、これからの自分にぴったりの学校を自分で選ぶと宣言したのですが、もしかしたらこの時期に「自分で自分をコントロールしていくこと＝自律性」に気づいたのかもしれませんが。

「子どもの自律性を育むにあたって、信頼関係は重要な要素になる」と、以前、アメリカのスクールスタッフが言っていました。信頼を築くことで、選択の自由や行動の自由を手に入れるだけでなく、つらさや責任も理解し、受け入れる力も育まれるんだ、と。

その後、「私は、ゆる〜く枠が決まっているところで、その中で自由な切り口で学ぶのが好きだっけ気づいた！」ということで、娘は2020年の春からこの自由が丘月寒スクールに通っています。スクール子どもたちスタッフの方々はもちろん、スクールのOBOGやインターンの大学生たちとも信頼関係を築き、自律性を育みつつ、「自分にちょうどよくフィットする自由」を見つけてほしいなと思っています。

(編集子:筆者は縁があり、本州から移住しました。2年前より父母ネットワークづくりに協力頂いています)